

〔古事記上〕故阿曇連等者其綿津見神之子宇都志日金拆命之子孫也。

〔古事記傳六〕子孫は須惠と訓べし。下卷に袁祁命の押齒王之末奴ミエヤツコと名告給へる。末ミエは子孫の意

なればなり。此は實は其御子にて、子孫にはあらねど、言は子孫といふことなり。書紀には御裔ミエヤツコとかけり。是に依て某の子孫などあるをば、

皆須惠とよむべきなり。中昔も今も然云なり。書紀にウミノコと訓めるは、子孫八十連屬、又生

の稱にこそあれ、たゞ某子孫などあるを然訓むは、いかゞなり。凡の稱に此の如き差別あるこ

となるを、文字だに同じければ、いづこも、同く訓るは、たゞ文字にのみ依て、古言を思はぬ

故なり。同字を書けども、そのさまに依て、古言は異なるを思ふべし。又はツコと云訓もあれ

る證を見ず。〔古事記顯宗〕初天皇逢難逃時、求奪其御糧猪甘老人。皆斷其族之膝筋。是以至今其子孫上於倭

之日、必自跛也。

〔古事記傳四十三〕子孫は、古籽母と訓べし。先祖をも於夜と云、子孫をば末々までも古と云は、古

言なり。

〔日本書紀神代〕一云。○中 是以火酢芹命苗裔。諸隼人等、至今不離天皇宮墻之傍。代吠狗而奉事者也。

〔續日本紀孝謙十八〕天平勝寶三年二月己卯、典膳正六位下雀部朝臣真人等言。○中 望請改巨勢大臣爲

雀部大臣、陳名長代示榮後胤。

〔三代實錄清和二十三〕貞觀十五年五月廿九日壬辰、左京人河内大掾正六位上淡海真人濱成散位淡海

真人高主、内豎淡海真人秋野淡海真人最弟蔭子從八位上淡海真人安江、正六位上永世真人志我、

永世真人仲守、右京人文章生正八位上永世朝臣有守、蔭子正六位上永世朝臣宗守等九人、並賜姓

淡海朝臣、其先大友皇子之苗裔也。

〔類聚三代格二〕太政官符

應以大社封戶修理小社事 四箇條之初條